

ホンダによる支援事例 (株)イズミ車体製作所<車工会>



活動期間：2021年7月～2022年3月

ホンダによる支援事例 (株)イズミ車体製作所<車工会>

主なお困り事	現場確認の結果
<p>オーダーメイドに基くワンオフ生産をされているため、</p> <ul style="list-style-type: none">・内作部品の材料・部品の在庫管理が難しい。・季節・時期により生産変動が大きく、生産負荷のバランスを取りにくい。	<ul style="list-style-type: none">・部品・材料の在庫管理が不十分な状態で、必要なものがどこにあるのかが判別しづらい状態。・設計見積、作業原単位、製造計画とのつながりが不明瞭。 (作業標準時間の設定が必要) <p>→ <u>5S活動を改めて実施し、在庫管理の質向上を図る</u></p>

<現場確認の状況>



現場確認項目と確認のポイント

場所	例：倉庫	Scope: 対策拡大の範囲
<現場の事実 Findings> ex)倉庫の整理整頓ができてない 棚が活用できていない 在庫数量が把握できていない	事実によって困ることはないですか？	
<写真 Picture：啓蒙活動>	困ることを改善するには何が必要ですか？	
	他の場所で同じような問題はありませんか？	
	誰が管理者となって、いつまでに何をしますか？	

場所	例：倉庫	Scope: 対策拡大の範囲
<現場の事実 Findings> ex)倉庫の整理整頓ができてない 棚が活用できていない 在庫数量が把握できていない	事実によって困ることはないですか？	
	②:①の現場の事実から困っていることを念頭に現場で問題ないのか、普段の作業を考えながら検討し記載する	
<写真 Picture：啓蒙活動>	①:写真からわかる事実を追加して記載する	
	困ることを改善するには何が必要ですか？	
	③:②の困ることを改善するために何をするか考えて記載する	
	他の場所で同じような問題はありませんか？	
	④:②は他の所でも問題になっていないか考えてみる	
誰が管理者となって、いつまでに何をしますか？		
	⑤:③と④を踏まえて何をいつまでにするのか考えてみる (難しい課題の場合は目先の目標で可)	



各現場で確認する観点を共有し推進

<対応事例>

対応前



対応後



- ・消耗品が箱に入っている状態
- 正確な在庫数の確認に時間がかかる
- 品種別の使用量が見えづらく、発注時期や数量は個別判断

- ・消耗品を全て箱から出し、品種別に仕切って棚に整理された
- 仕切り板に目盛りを入れ、在庫数がすぐに視認できるよう改善
- 品種別の在庫数の見える化で、使用量と発注時期・数量の管理が容易に

<支援先の声>

今回の活動を通して、参考になったこと

- 皆で議論し実行することで、**社員それぞれが主役意識を持って取り組む**ようになった。

今後の社内改善への進めについて

- **成功事例を横展開**し、社員一人ひとりが、**先ず問題点に気づくこと**につなげていきたい。
- 気づいたことを早く展開し、**対策・実行を躊躇なく進められる**ようにしたい。

今回の活動を通して、「こうして欲しかった」、または「こうすればもっと良かった」こと

- コロナ禍のため、**現場での確認機会が制限されたのが残念。**

その他、ご意見

- 現場等を見慣れている社内の人間の気づきよりも、**第三者から見ていただく方がはるかに収穫が多い**ことを実感。